



© Nana Furiya

福音館書店販売部発行

3月

新しい1年が始まりますね。
今月は春の店頭にぴったりな
人気シリーズの新作など
3月の新刊4点をご紹介します。
2023年が皆さまにとって
よい年になりますように！

世界一大きなケーキをめしあがれ！



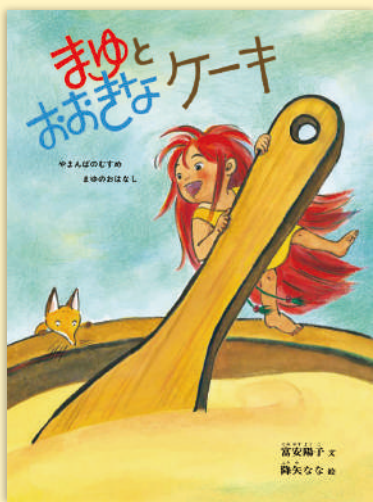
まゆは ケーキを ひろばのまんなかに おろすと、
はりきって いいました。
「さあ、みんな、とくせい でかでかケーキを めしあがれ！」
まゆの ひとことで おきゃくさまたちは
まっぺましたとばかりに、ケーキの やまに
とびつきます。

3月
の
新刊

まゆと おおきなケーキ やまのむすめ まゆのおはなし

本体価格：1000円 サイズ：27×20 頁数：32
対象年齢：5・6才〜 シリーズ名：こどものとも絵本
配本パターン：S 配本日：3月1日

やまの山に春がきました。すてきな春の
パーティーのために世界一大きなケーキを作
ろうとはりきるやまの娘、
まゆ。ところが巨大な雲が
じゃまをします。



大人気！
シリーズ累計
30万部！
力持ちで元気いっぱいな
やまのむすめ
まゆのおはなし

10ぴき、みんなちがうから、おもしろい！



てんこちゃん

- はじめてのことが
しんばいになる
こわがりやさん
- すきなべものは
おもち
- すきなあそびは
ひとりでままごと

テンのてんこちゃんは初めてのことがとて
も苦手。学校が始まり自己紹介に遠足と慣れ
ないことはかりで、さて「どうしよう！」。
『ツレがうつになりまして。』（幻冬舎）の細
川貂々さんが、初めての場所で誰もが感じる
不安を、少しずつ乗り越えていく姿を描いた、
今を生きている子どもたちに寄り添う絵本です。



はじめてばかりで
どうしよう！の巻
ほそかわてん作

がっこうの てんこちゃん

3月
の
新刊

子どもたちと
いっしょに
70th
福音館書店

次の100冊

新しい人気作品を
うみだす編集部から
改めて作品の魅力を
お届けする連載です。

『もじもじこぶくん』

おのであつこ
小野寺悦子 文／きくちき 絵

こどものとも第一編集部より

このなんとも愛らしいこぶたのこぶくんが生まれた
のは、もう7年も前。編集担当は、当時小野寺悦子
さんの原稿を拝読した瞬間から、こぶくんの大ファン
になり、どなたに描いていただいたら、みんなの
愛しのこぶくんになるのか、ずっとずっと探し続け
ました。そして、展覧会でのきくちきさんとの運
命的な出会い！ちきさんが息子さんとこぶくんを重
ね合わせ、心をこめて描いてくださり、こぶくんが
誕生したのでした。こぶくんの続編も2024年2月
に刊行予定です。どうぞお楽しみに！



第11回
こぶくんの
勇気に
思わず拍手！



お問い合わせ先
☎113-8686 東京都文京区本駒込6-6-3
FAX 03-3942-7950
株式会社福音館書店 販売部 ニュース係
*掲載している新刊の刊行日・表紙画像・頁数は変更する場合がございます。

WEBから商品をご注文いただけるようになりました
<https://www.bookinter.intage.jp/intagesystem/Store/>
(Book インタラクティブ)

●書店情報をご登録頂ければ無料でご利用頂けます。
●HP上で在庫確認及び発注が可能です。 ●客注番号の付与も可能です。

販売部のTwitter/Instagram
[@fukuinkanhanbai](https://twitter.com/fukuinkanhanbai)

表紙絵：塩川いずみ／A5変型／84ページ／毎号定価700円(税込)
※定価は2023年4月1日現在の消費税込価格です。
※表紙のデザイン、記事の内容は変更になることがあります。



創刊70周年

母の友

がデザイン・リニューアル
をいたします

芯は変わらず、装いは新たに

「母の友」は、1953年に創刊された、福音館書店でも一番歴史が長い月刊誌です。創刊以来、子どもとおとなと一緒に、無理せず、楽しく暮らせる、そんな毎日を目指して、お母さん、そして子どもに関わるすべての人に寄り添う特集をたくさんお届けしてまいりました。その姿勢はそのままに、創刊70周年の節目にデザイン・リニューアルをいたします。「知ること」で心が軽くなる。「読むこと」で安心できる。そんな「母の友」を、この機会にぜひ店頭でご紹介ください。

2023年4月号の特集「わたしを大事にするヒント」

子どもを大切に育てながら、自分の体や心も大事にして暮らすためのヒントをお届けします。

特別対談

「親のための“酸素マスク”が必要なのは？」

宮地尚子さん × 小林エリカさん
(精神科医) (作家、マンガ家)

- 「わたしを取り戻すための時間」
ぼる塾、酒寄希望(お笑い芸人)さん
菊池亜希子(モデル)さん
山崎ナオコーラ(作家)さん
田房永子(マンガ家)さん
- 「自分のためのレシピ」
野口真紀(料理研究家)さん
- 「自分らしく、なくても」
星野概念(精神科医)さん など

あの本、この本、みんな
「母の友」から生まれました！



『ぐりとぐら』
(1963年6月号)



『おしゃべりなたまごやき』
(1958年5月号)



『おふろだいすき』
(1965年4月号)



『せんたくかあちゃん』
(1970年8月号)



『いはいやえん』
(1961年10月号)



『ロボット・カミイ』
(1969年8月号)



『魔女の宅急便』
(1982年4月号)



『ははがうまれる』
(2008年4月号)



『一緒に生きる』
(2010年12月号)



『こどもに聞かせる
一日一話』

人気連載より

大好評！

※ () 内は初出掲載号

3月
の新刊

ちいさなふたりのいえさがし

たかおゆうこ 作

本体価格：1000円 サイズ：20×27 頁数：32 対象年齢：5・6才～
シリーズ名：こどものとも絵本 配本パターン：S 配本日：3月1日

小さなおじいさんとおばあさんが、家探しの旅に出ます。
いちご、すいか、りんご。果物をくり抜いて家を作ります。
ふたりが安心できる住まいは見つかるのでしょうか？

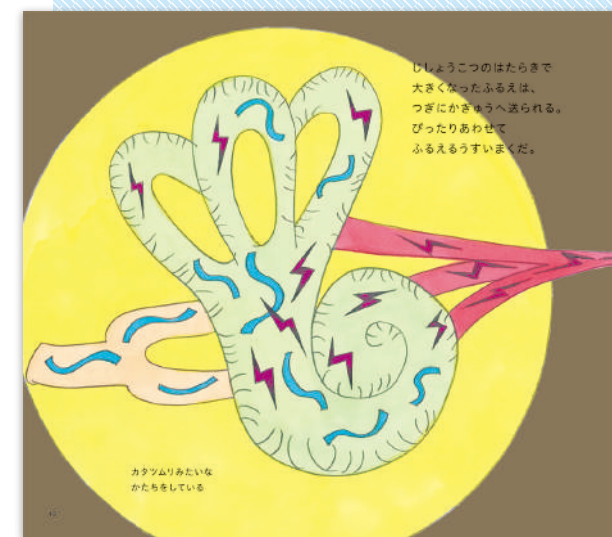


ちいさくなったら
どんな家に住みたい？



そして、ついに すいかのいえが できました。
すいかのいえは ひろくて ひんやりしていて
いいきもちです。
おばあさんは すいかの なかみで おいしい
すいかのゼリーを つくりました。
おじいさんは すいかのたねを そだてました。
ふたりは まいにち
おいしい すいかを たべて くらしました。

ところが なつ まっさかり、おひさまが
かんかんに てりだすと。
すいかのいえは ずんずん おおきくなり、
みしみしと おとを たてはじめ……



じしゅうこつのはたらきで
大きくなったふるえは、
つぎにかなうへ運られる。
びったりあわせて
ふるえるうすいまでだ。

かぎゅうにふるえがとどくと、なかにびびり生えた
うぶ毛のようなものがゆれて、電気信号をつくりだす。
この信号が脳につたわり、
音として聞こえるんだ。

ああ、かぎゅうから
脳に信号がやってきた！
すると、脳はすばやく計算をして、
それがなんの音なのか、
ほんだんする。

「あ、
おにいちねんの
声だ！」



音はふるえる
空気の波から
生まれるんだって

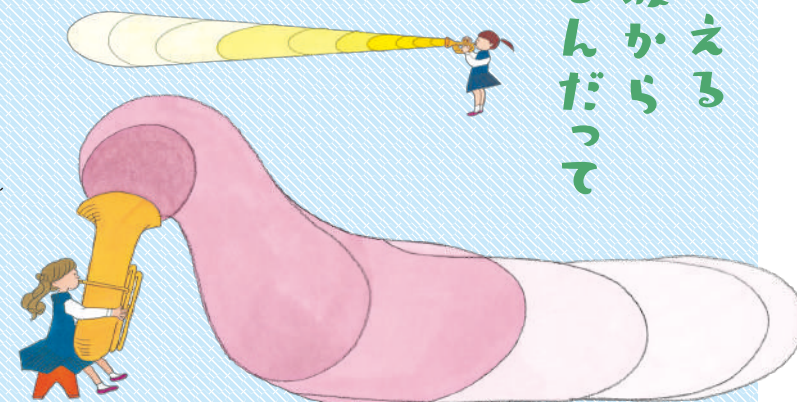
3月
の新刊

聞いて 聞いて！
音と耳のはなし

たか つおむね えんどうよしと ながさくにこ
高津 修、遠藤義人文・長崎訓子 絵

本体価格：1600円 サイズ：22×25 頁数：44 対象年齢：5・6才～
シリーズ名：科学シリーズ 配本パターン：C 配本日：3月15日

音は震える空気の波。大きな音は大きくうねり、高い音は細
かく震えて、それを2つの耳で聞くことで、いきいきと立体的
に聞こえてきます。長くオーディオ専門の執筆活動に携
わってきた著者が語る、音の魅力と耳のふしぎ。



© Kuniko Nagasaki